

北谷町商工会 令和4年上期 景況調査

1. 景況

(1) 売上

全業種では、前年同期比では横ばい、次期見通しは増加傾向

業種別では、前年同期比および時期見通しいずれも、建設が大幅減少、小売・飲食宿泊が増加傾向

(2) 仕入れ(量)

売上の動向と同様の傾向

(3) 利益

全業種では、前年同期比ではやや減少、次期見通しは増加傾向

業種別では、前年同期比および時期見通しそれぞれ、建設が大幅減少、小売・飲食宿泊が増加傾向

(4) 雇用

全業種では、前年同期比では減少、次期見通しはやや増加傾向

業種別では、前年同期比および時期見通しそれぞれ、建設が減少、その他はほぼ横ばい傾向

(5) 資金繰り

全業種では、前年同期比、次期見通し、いずれも横ばい傾向

業種別では、前年同期比および時期見通しそれぞれ、建設がやや悪化、その他はほぼ横ばい傾向

(6) 集客・受注

全業種では、前年同期比ではやや増加、次期見通しは大幅増加傾向

業種別では、前年同期比および時期見通しそれぞれ、建設が減少、その他は大幅増加傾向

(7) 客単価

全業種では、前年同期比、次期見通し、いずれも上昇傾向

業種別では、前年同期比および時期見通しそれぞれ、建設が大幅低下、その他は増加傾向

(8) 借入

全業種では、前年同期比、次期見通し、いずれも増加傾向

業種別では、時期見通しについて、飲食および宿泊、サービスが増加傾向

2. 経営上の問題点

最多は売上減少(50%)

仕入れ高騰(45%)、人材不足(45%)、需要停滞(33%)、従業員確保(33%)が続く

【参考】「増加(等)-減少(等)」 沖縄県、全国のデータについて

- ✓ 沖縄県の【「増加(等)-減少(等)」】は、海邦総研「県内景気動向調査(2022年4-6月実績、7-9月見通し)」より類似するデータを引用
- ✓ 全国の【「増加(等)-減少(等)」】は、中小機構「第168回中小企業景況調査(2022年4-6月期)」より類似するデータを引用
- ✓ それぞれ、4-6月期を1-3月期、7-9月期と比較したデータ

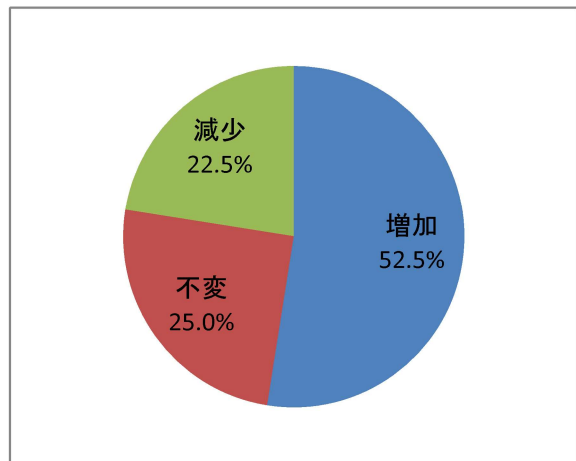
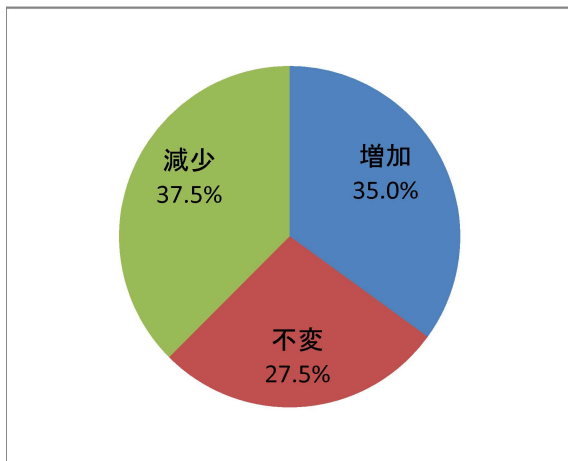
1. 景況

(1) 売上

【全体としては横ばい、小売・飲食宿泊・サービス業は好調であるが、建設業は厳しい状況】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
14	11	15	0
35.0%	27.5%	37.5%	0.0%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
21	10	9	0
52.5%	25.0%	22.5%	0.0%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	-2.5%	9.1%	-7.7%

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	30.0%	30.9%	—

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	16.7%	83.3%
小売	50.0%	33.3%	16.7%
飲食宿泊	62.5%	12.5%	25.0%
サービス	31.3%	25.0%	43.8%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	16.7%	0.0%	83.3%
小売	50.0%	50.0%	0.0%
飲食宿泊	87.5%	12.5%	0.0%
サービス	56.3%	31.3%	12.5%

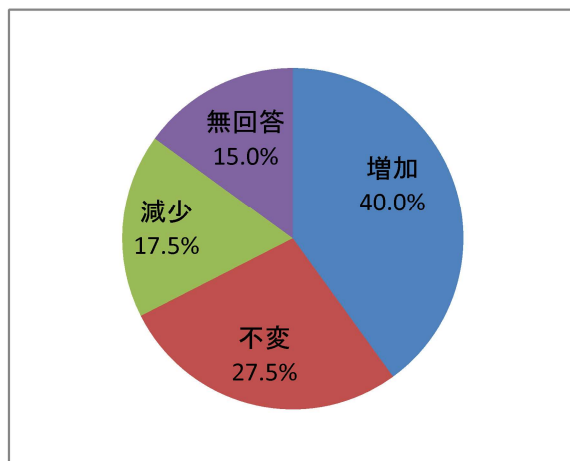
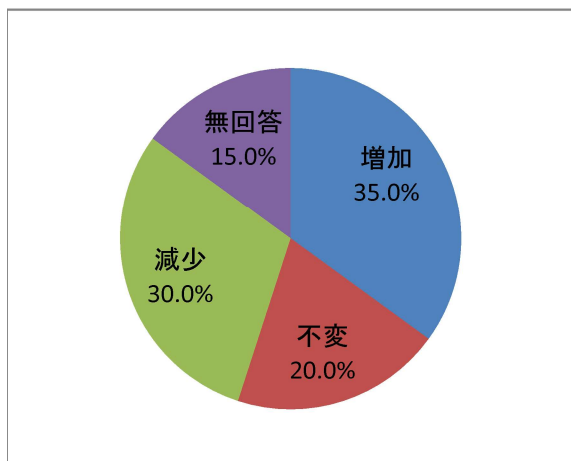
- 全業種の増加—減少は、▲2.5%であり、ほぼ横ばいの状況といえる。
- 次期は、飲食宿泊、小売など観光関連業種を中心に増加の見通しとなっている。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県を下回り、全国を上回る状況。
- 業種別では、建設業の売上減少が著しい。また、次期についても厳しい見通しとなっている。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、いずれも売上は増加傾向にあり、次期はさらに増加する見通し。

(2) 仕入(量)

【売上の動向と同様の傾向、全体として横ばい】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
14	8	12	6
35.0%	20.0%	30.0%	15.0%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
16	11	7	6
40.0%	27.5%	17.5%	15.0%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	5.0%	—	—

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	22.5%	—	—

前年比			
	増加	不変	減少
建設	0.0%	0.0%	66.7%
小売	66.7%	0.0%	33.3%
飲食宿泊	62.5%	12.5%	12.5%
サービス	18.8%	31.3%	31.3%

見通し			
	増加	不変	減少
建設	0.0%	0.0%	66.7%
小売	50.0%	33.3%	16.7%
飲食宿泊	75.0%	12.5%	0.0%
サービス	37.5%	37.5%	6.3%

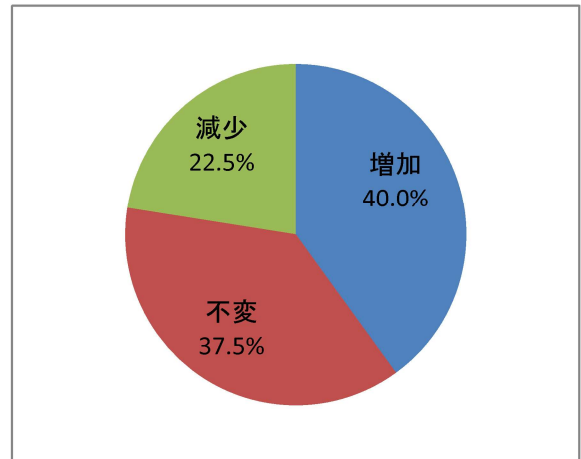
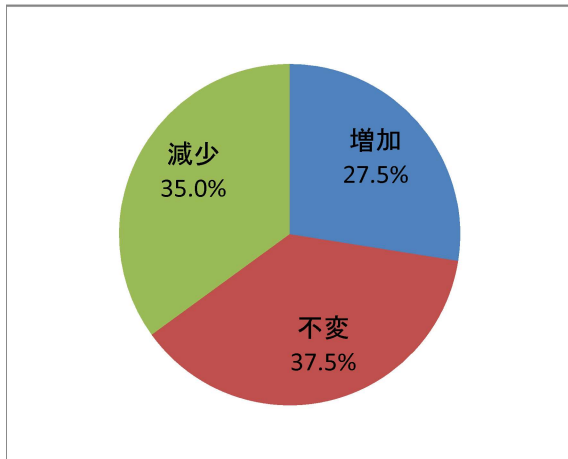
- 全業種の増加—減少は、5.0%であり、ほぼ横ばいの状況といえる。
- 次期は、飲食宿泊、小売など観光関連業種を中心に増加の見通しとなっている。
- 業種別では、建設業の売上減少が著しい。また、次期についても減少の見通しとなっている。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、いずれも仕入量は増加傾向にあり、次期も増加する見通し。

(3) 利益

【全体としては増加、小売・飲食宿泊は好調であるが、建設業は厳しい状況】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
11	15	14	0
27.5%	37.5%	35.0%	0.0%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
16	15	9	0
40.0%	37.5%	22.5%	0.0%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	-7.5%	-5.4%	-29.5%

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	17.5%	17.0%	-22.5%

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	16.7%	83.3%
小売	50.0%	33.3%	16.7%
飲食宿泊	37.5%	50.0%	12.5%
サービス	25.0%	31.3%	43.8%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	16.7%	83.3%
小売	50.0%	50.0%	0.0%
飲食宿泊	50.0%	50.0%	0.0%
サービス	43.8%	37.5%	18.8%

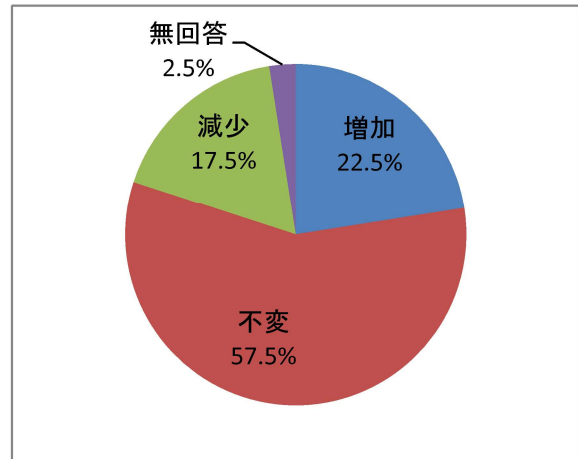
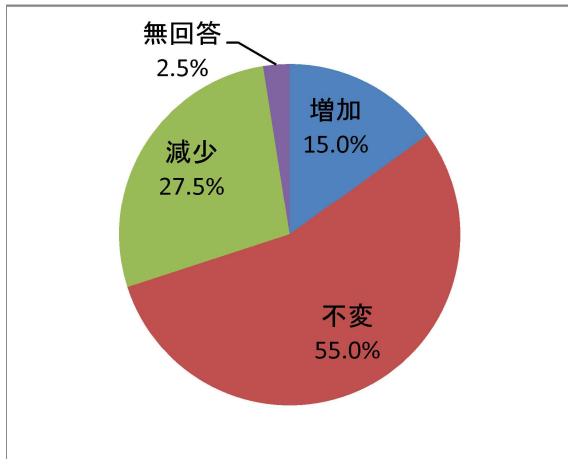
- 全業種の増加—減少は、▲7.5%であり、減少傾向といえる。
- 次期は、飲食宿泊、小売など観光関連業種を中心に利益増加の見通しとなっている。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県を下回り、全国を上回る状況。
- 業種別では、建設業の減少が著しい。また、次期についても厳しい見通しとなっている。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、いずれも利益は増加傾向にあり、次期も増加する見通し。

(4) 雇用

【全体としては減少傾向、次期は増加に転じる見通し】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
6	22	11	1
15.0%	55.0%	27.5%	2.5%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
9	23	7	1
22.5%	57.5%	17.5%	2.5%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	-12.5%	34.3%	-3.3%

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	5.0%	38.0%	1.7%

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	66.7%	16.7%
小売	0.0%	83.3%	16.7%
飲食宿泊	12.5%	37.5%	50.0%
サービス	18.8%	56.3%	25.0%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	33.3%	50.0%
小売	16.7%	66.7%	16.7%
飲食宿泊	25.0%	75.0%	0.0%
サービス	31.3%	50.0%	18.8%

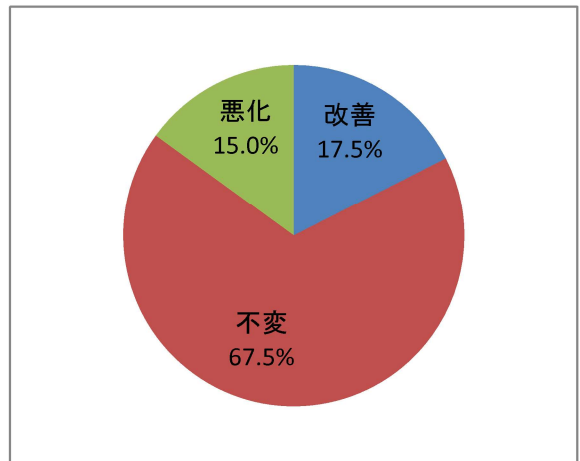
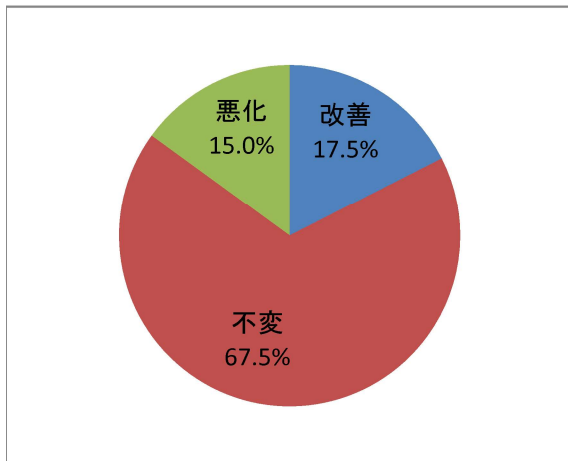
- 全業種の増加—減少は、▲12.5%であり、減少傾向といえる。
- 次期は、増加見込みであり、飲食宿泊、サービスは増加見通しとなっている。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県、全国を下回る状況。
- 業種別では、飲食・宿泊が減少しているが、次期は増加する見通し。
- 飲食・宿泊は売上は増加しているが、雇用は減少という逆の傾向になっている。

(5) 資金繰り

【全体としては横ばい、次期は改善の見通しであるが建設業は厳しい状況が継続】

前年比			
改善	不変	悪化	無回答
7	27	6	0
17.5%	67.5%	15.0%	0.0%

見通し			
改善	不変	悪化	無回答
7	27	6	0
17.5%	67.5%	15.0%	0.0%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
改善-悪化	2.5%	—	—

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
改善-悪化	2.5%	—	—

	前年比		
	改善	不変	悪化
建設	16.7%	66.7%	16.7%
小売	16.7%	83.3%	0.0%
飲食宿泊	0.0%	75.0%	25.0%
サービス	18.8%	68.8%	12.5%

	見通し		
	改善	不変	悪化
建設	0.0%	50.0%	50.0%
小売	16.7%	66.7%	16.7%
飲食宿泊	25.0%	75.0%	0.0%
サービス	12.5%	81.3%	6.3%

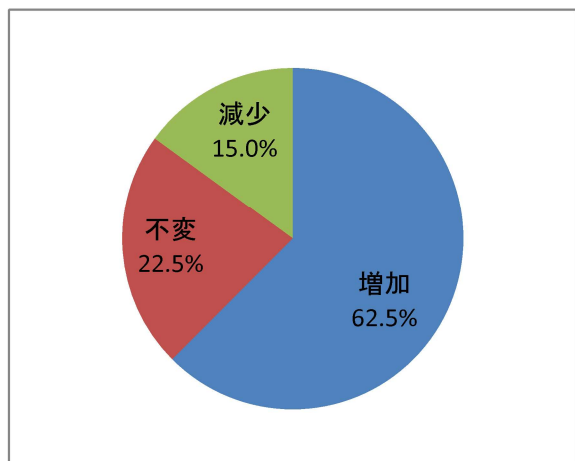
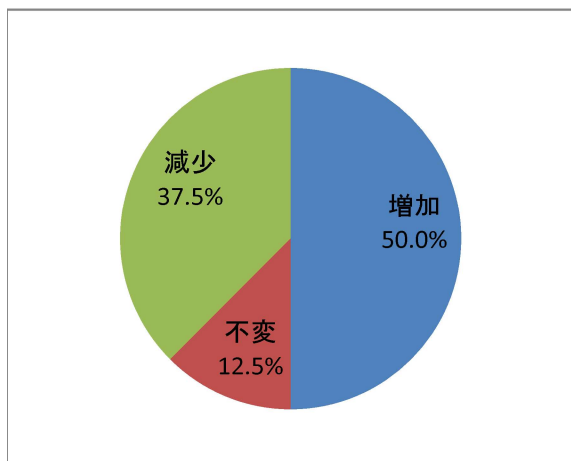
- 全業種の改善—悪化は、2.5%であり、横ばいの状況といえる。
- 次期もほぼ同様の傾向。建設業は悪化、飲食・宿泊は改善の見通し。
- 業種別では、小売、サービスが改善、飲食が悪化傾向となっている。
- 次期は建設業は悪化、その他は横ばいまたは改善の見通し。

(6) 集客・受注

【全体としては増加、次期は建設業を除き大幅増加の見通し】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
20	5	15	0
50.0%	12.5%	37.5%	0.0%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
25	9	6	0
62.5%	22.5%	15.0%	0.0%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	12.5%	—	—

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	47.5%	—	—

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	0.0%	100.0%
小売	83.3%	0.0%	16.7%
飲食宿泊	62.5%	25.0%	12.5%
サービス	50.0%	12.5%	37.5%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	16.7%	33.3%	50.0%
小売	50.0%	33.3%	16.7%
飲食宿泊	87.5%	12.5%	0.0%
サービス	75.0%	12.5%	12.5%

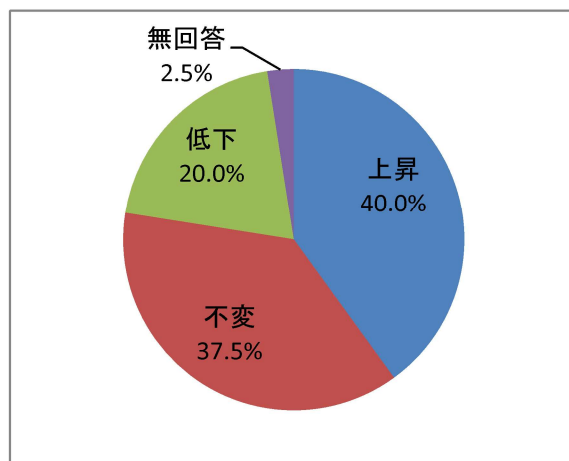
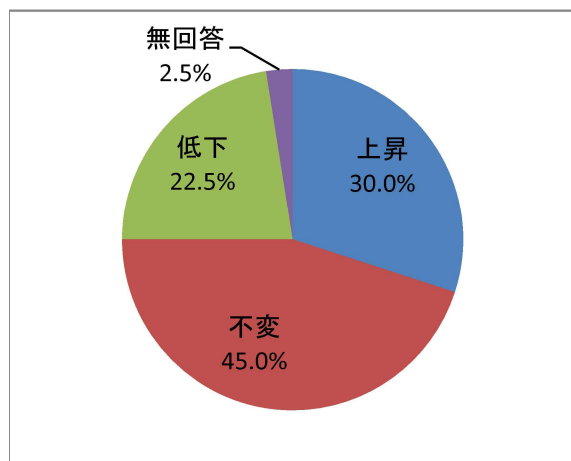
- 全業種の増加—減少は、12.5%であり、増加傾向。
- 次期は建設業を除き大幅増加の見通し。
- 業種別では、建設業は減少で次期も減少見通し、その他は増加しており次期も増加見通し。
- 次期見通しについて約9割の事業者が増加と回答している。

(7) 客単価

【全体としては上昇、次期は建設業を除き大幅上昇の見通し】

前年比			
上昇	不変	低下	無回答
12	18	9	1
30.0%	45.0%	22.5%	2.5%

見通し			
上昇	不変	低下	無回答
16	15	8	1
40.0%	37.5%	20.0%	2.5%



	北谷町	沖縄県	全国
上昇-低下	7.5%	21.5%	4.7%

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	20.0%	30.9%	6.6%

	前年比		
	上昇	不変	低下
建設	0.0%	33.3%	66.7%
小売	50.0%	50.0%	0.0%
飲食宿泊	50.0%	37.5%	12.5%
サービス	18.8%	56.3%	18.8%

	見通し		
	上昇	不変	低下
建設	16.7%	16.7%	66.7%
小売	66.7%	16.7%	16.7%
飲食宿泊	62.5%	37.5%	0.0%
サービス	31.3%	43.8%	18.8%

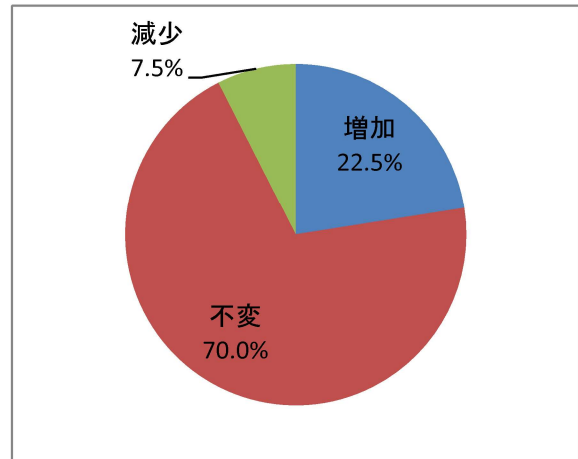
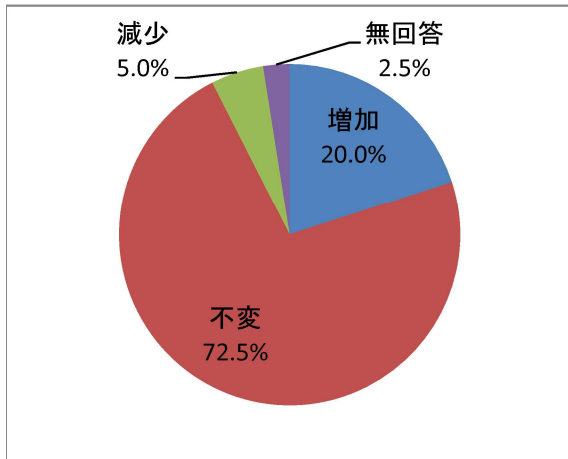
- 全業種の上昇—低下は、7.5%であり、上昇傾向。
- 次期も上昇傾向は継続する見通し。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県を下回り、全国を上回る状況。
- 業種別では、建設業で客単価低下傾向。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、いずれも上昇傾向にあり、次期はさらに上昇する見通し。

(8) 借入

【全体としては増加、次期も増加傾向の見通し】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
8	29	2	1
20.0%	72.5%	5.0%	2.5%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
9	28	3	0
22.5%	70.0%	7.5%	0.0%



	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	15.0%	—	—

	北谷町	沖縄県(参考)	全国(参考)
増加-減少	15.0%	—	—

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	33.3%	33.3%	16.7%
小売	33.3%	66.7%	0.0%
飲食宿泊	12.5%	87.5%	0.0%
サービス	18.8%	81.3%	0.0%

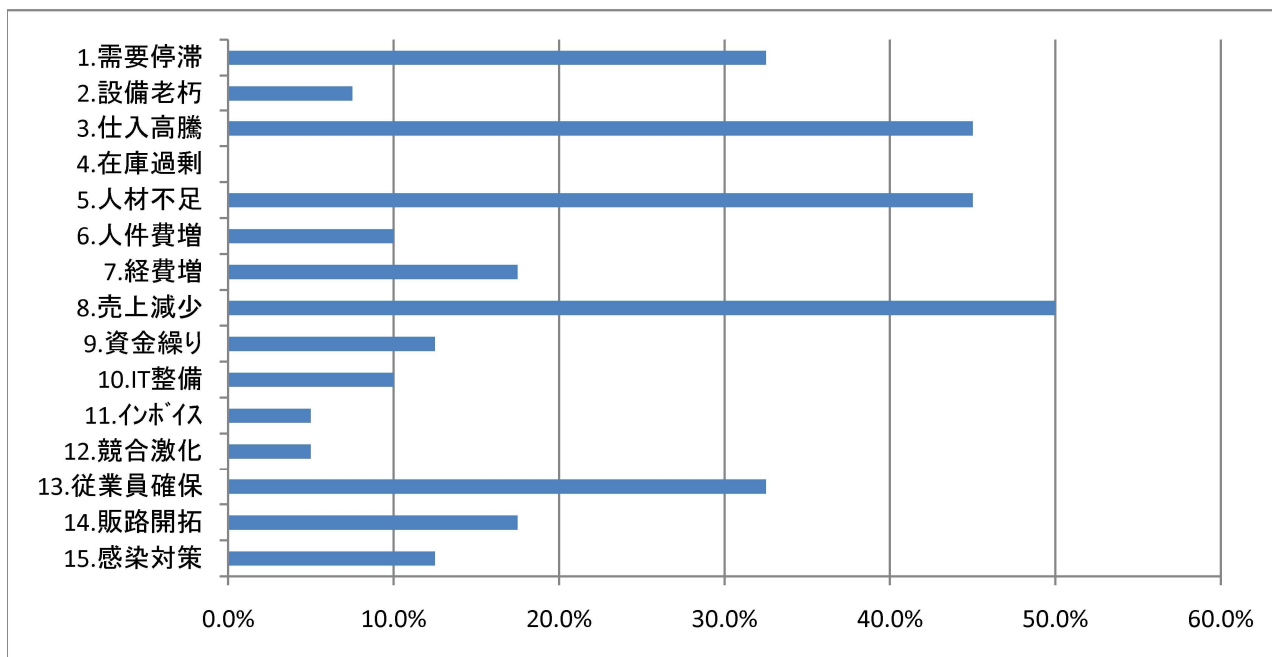
	見通し		
	増加	不変	減少
建設	33.3%	50.0%	16.7%
小売	16.7%	66.7%	16.7%
飲食宿泊	37.5%	62.5%	0.0%
サービス	18.8%	81.3%	0.0%

- 全業種の増加—減少は15.0%であり、増加傾向。
- 次期も増加傾向は継続する見通し。

2. 経営上の問題点

1.需要停滞	2.設備老朽	3.仕入高騰	4.在庫過剰	5.人材不足	6.人件費増	7.経費増	8.売上減少
13	3	18	0	18	4	7	20
32.5%	7.5%	45.0%	0.0%	45.0%	10.0%	17.5%	50.0%

9.資金繰り	10.IT整備	11.インボイス	12.競合激化	13.従業員確保	14.販路開拓	15.感染対策	16.その他
5	4	2	2	13	7	5	0
12.5%	10.0%	5.0%	5.0%	32.5%	17.5%	12.5%	0.0%



- 最多は売上減少(50%)。仕入れ高騰(45%)、人材不足(45%)、需要停滞(33%)、従業員確保(33%)が続く。
- ①売上に関連する項目(売上減少、需要停滞)、②仕入れに関連する項目(仕入れ高騰)、③従業員に関連する項目(人材不足、従業員確保)の3つのカテゴリーが大きな問題となっている。